

あり、1年でも早い解消対策を要望する。

また私の家も生活用水に流れ水を使っているが、雨が降ると濁る。こういった地域がたくさんあるにもかかわらず、市に至っては浄水器を設置したと聞いている。そのことは喜ばしいと思うが、水が来ない家庭から見ればそのお金を、給水計画策定や説明会に使えたのではないかと残念に思う。浄水器に反対するわけではないが、未給水地域の解消ののちにすべきことではないかと考える。未給水であることが原因で、あと10年もしたら人口が減り、事業実施の受益が減ってしまうのではないかと心配する。早急に解消対策を要望する。

A

未給水の地域の皆さんには大変なご苦勞をおかけしている。生活の上でも非常に重要な部門であるため雲南市としても一刻も早く解消するよう努力している。現在、基本計画を策定中で、森木浄水場の取水量増量は調査の結果、安定して取水することが難しい状況であり、また付近で新たに水源を確保することも難しいと判断している。それを踏まえて、現在2案に絞り比較検討作業中である。

まずひとつは、老朽化が進む森木浄水場の改築を行う、未普及解消の拡張で不足する水量については、隣接する大東上水道で賄う方法、もうひとつは、森木浄水場を休止し、海潮簡水の給水区域と未普及解消の全てを大東上水道で賄う方法である。いずれの方法にせよ、海潮地区は起伏が激しいため増圧施設や減圧施設が多数必要で、より経済的な施設、管路となるよう検討している。拡張区域については昨年実施した「生活用水に関するアンケート調査」をもとに要望の高いところ、また、陳情状況を踏まえ決定していきたい。基本計画、拡張区域については今後なるべく早い時期に、海潮地区連合自治会等で説明を行いたい。今年度は基本計画策定・変更認可を行い、23年度に詳細設計、24年度から27年度にかけ施設・管路整備を順次行う予定としている。多額の事業費がかかることから5カ年計画としなるべく年限が短縮できるように努力する。(水道局)

一言補足をする。未給水地域の解消については、雲南市の最重要施策と位置付けており一刻も早い解消を目指している。浄水器の設置については、もちろん未給水地域の解消には当然力を入れるが、一方で上水道がありながらもかなりカルキが入っている水もあるため、少しでも浄化し健康的な水を供給するという意味から6町総合センターなどに設置した。短期的、中長期的な上水道対策を進めていかなければならないと思っている。(市長)

23. [公共交通・交通安全対策]

吉田町田井地区

Q375 [市民市バス北原線の深野地内への乗り入れについて]

先般市の議員さんへもお話をしたが、市民バスの深野への乗り入れについて、ここの交流センターまで入っていただくことを検討願いたい。

A

市民バスについては、昨年度の市政懇談会においても質問をいただき、その後持ち帰って検討をしている。北原線をこちらの田井(深野)へ乗り入れをしてもらいたいという要望であると思うが、便数が1日7便か8便で、距離が短い分どうしても時間をずらすことになるため、ダイヤ全体をずらすことになる。北原線のみ始発、終便の往復便だけなら多少大丈夫であると思うが、JRや、さまざまなバスに連絡をしておそれが多数あるので昨年は難しかったということであった。

市民バスをもう少しこちらに入って欲しいといった要望は、市内全域で出ているところであり、これもなかなか難しく、ひとつ実施すれば他も実施する必要が生じるとかで陳情してもらっても、そのような観点でお断りをしているところである。

しかしご要望の件については、再度今年中に結論を出してできるのかできないのか、できるとすればどのような方法があるのか、早急に検討をして回答をしたいのでご理解をいただきたい。(政策企画部)

Q376 [高校通学用の市バス運行について]

三刀屋高校で部活をした場合、田井の生徒は、朝は木次の新市までバスで行き、そこから自転車で学校へ行くが、帰りは部活をして木次まで帰っても田井へ帰るバスがない。部活が終わる時間にバスを運行出来ないか。

A

大東高校、三刀屋高校等の生徒については部活動の関係もあり、かなりの生徒が保護者の送迎により通学をしておられるのが実態で、またそうせざるを得ない状況となっていることも承知している。市内では27台のバスと年間2億円の経費を掛けてバス運行をしているが、出来る限り対応ができるような工夫を改めて検討していきたい。(政策企画部)

掛合町波多地区

Q377 [高速道路の開通と高速バスについて]

高速道路が開通すると、ここに唯一の公共機関である松江、出雲、広島線がなくなるのではないかと、これからは吉田まで行かないと乗れないということにはならないか。

広島方面に出るための唯一の公共機関なので、飯南町と連携をとるなどしてなくなるようお願いしたい。

A

なかなか難しい話である。高速道路が開通すれば、待ちに待っていたという捉え方で、公共交通機関はそれを利用するようになると思う。それでは不便になるということで、どうやって高速道路のバス停までの手段を確保するのかということを考えるということが基本的な取り組みではないかと思う。一畑や広島バスに下を通ってもらえませんかという話をしたら、なんのために高速道路が完成したのかということになるので、吉田掛合チェーンベースにバス停ができることになるので、そこへマイカーで行けない方の手段を考えないといけないと思う。(市長)

三刀屋町鍋山地区

Q378 [運転免許返上者の交通手段の確保について]

高齢となり運転免許証を返還し、運転ができなくなることは死活問題です。将来自分も心配です。最近「買い物難民」という言葉を聞きました。非常に嫌な言葉が多い。「限界集落」「学校崩壊」など。高齢者で唯一の手段である車がなくなると不便。家族や地域の人にはもし事故を起こされたいけないと心配もあり、免許証の返還を勧めることもいたしかたないが、何か行政の方で補助とか移動方法の検討など考えてほしい。買い物もだが、病院通いも心配。バスも少ないしタクシーも支払いが大変。

A

免許証返還で移動に困難が生じた場合、地域や行政が一緒になって考えていかなければなりません。例えば、掛合町波多地区では地域自主組織がふれあい助け合いを理念に、車をリースして自主組織の方々が活動として様々な住民サービスをされています。免許証を返還される方が不便を感じることはないようなまちづくりが必要です。貴重なご意見ありがとうございました。(市長)

加茂町立原、近松・南大西、三郷の会、宇治、宇治団地、宇治亀山団地地区

Q379 [交通安全協会費について]

車輛会費を徴収されているが、使い道が分からないので教えてほしい。

A

交通安全者協会へ車輛会費として納めているものです。車輛会費の60%が交付金として各支部に交付されます。桃太郎旗や道路標識やカーブミラーの設置等に使われています。決算報告も行っておりますので、そちらでご確認をお願いします。(加茂総合センター)

木次町新市地区

Q380 [下熊谷バスセンターの駐車許可証について]

下熊谷バスセンターに駐車許可証が置いてあるが、これはどの程度の効果があるものなのか。公安委員

会から認可された許可証なのか、それとも観光協会が作ったものか。これを持っていけばどこでも駐車違反にならないか。

A

バス利用者、特に高速バスを利用する方が車で来てバスに乗りたいが車の置き場がないということから、高速道路の高架下に駐車場を設置しております。そこに停めるときにその駐車券を車のフロントに置いて停めてもらおうというものです。少し説明不足だったかと思いますが、どこで停めても役に立つというものではありません。(政策企画部)

木次町斐伊地区

Q381 [カントリーエレベーターの建設に伴う交通安全について]

カントリーエレベーターが建設され、市内各方面から米が搬入されているようだ。交通量等は把握はしていないが、かなりの車が入り出しているのではないか。この市道山方寺領線は通学路になっており、事故が起こらないようにJAにもお願いしているが、市道藤が丘一号線が新たにでき、交差点がより変則的になっており、交通事故が心配。最大限の注意喚起を行政からもお願いしたい。

A

カントリーエレベーターの建設に際して関係の自治会、地元の浜谷自治会へ工事説明を行った際に交通安全対策の要望をいただいております。主なものとしては斐伊農道と市道山方寺領線の交差点に普通の信号機をつけてほしいというもの、市道山方寺領線の拡幅および歩道の設置をしてほしいというもの、また関係車両は市道山方寺領線の通行を禁止してほしいというものがあり、市としては県交安委員会へ信号機設置の要望や交差点への待機スペースの設置等により対応してきております。市道山方寺領線の通行規制については、JA雲南より工事車両や関係車両の通行を禁止して利用者にチラシを配布したり看板の設置によりカントリーエレベーターへのルートを明確にするよう対応されています。渋滞が発生する場合はJA雲南より交通整理員を配置して車両誘導を行うこととしておりますが、現在までそういう状況はありませんでした。今後交通量が増える見込みもありますので、ご意見を踏まえてJA雲南と連携を図りながら交通安全対策に努めていきたいと考えております。(産業振興部)

斐伊農道と市道山方寺領線の交差点への要望は以前よりいただいております。本年4月に雲南警察署と地元と市関係者により現地を調査したところです。路側帯の標示や看板の設置はすでにしてあります。信号機については県公安委員会へ上申中ですが、県警察の見解としては場所的に両側にカーブがあり、交差点がカーブの一番下にあるため、点滅信号を普通の信号に変えた場合に停止した車両の事故を招くおそれがあり難しいとのこと。(総務部)

十字路が2つあり、またカントリーエレベーターへ搬入出する運転者は地元のみでなく広域的にやってきました。対策としては確認のため再度安全運転を呼びかけるチラシを配布しております。路面標示の追突注意や停止ラインが薄れていたり、路面標示が足りないということで総合センターと協議して引き直しの対策を行う予定です。(建設部)

木次町温泉地区

Q382 [公立雲南総合病院の交通アクセスについて]

雲南病院市立化について、交通アクセスが悪く、バスの直行便がない。無理矢理電車でいかなければならない。市立化するなら交通アクセスをどのようにするのか。朝7:30のバスで出てこないといけない。出たついでに買い物もしたいと思う。

A

市立化に関わらずアクセスは良くしていかなければなりません。帰りの時間がちょうどいい時間がないということですが、広域路線で吉田から出るバスと、木次地域バスと両方あります。雲南病院、三刀屋高校、大東高校に通いやすい路線というのが市民バスの基本的な考え方です。毎年路線については検討していますので、しっかり受け止めて今後の時間帯設定に参考にさせていただきます。(市長)

木次町八日市地区

Q383 [JR木次線八日市踏切の改良について]

長年要望している踏切の舗装工事について、遠回しにされた経緯もあると思うので、ぜひ平成23年度には着手してもらい整備してほしい。今後の予定について説明してほしい。

A

去年も同じ質問をいただいております。平成22年度に詳細な設計をしておられます。県道ということもあり、またJRとの協議もごございます。踏切の拡張、歩道の拡張はJRの施工となっており、予算を持ちながら施工されます。県のほうが設計をされます。例年であれば11月頃に予算を出して施工ということで、来年施工するということになるかと思えます。民地との関連もあり、まだ協議中のご様子です。宮の境内にもお世話になると思いますので、もう少し時間をいただきたいと思えます。強く要望していきたいと思えます。(建設部)

大東町塩田地区

Q384 [市民バスの増便について]

地域活動で会合・催し物をして、朝は利用できるバスがあるが、帰りには良い便がない。午後にならないと便がない。スムーズな地域活動しようにも、益々高齢化し、年金も減少して奥だと活動しにくい。市の税金を使ってサービスを行う訳であるから、市職員の賃金は多少カットしてでも、市民へ還元し、増便してもらいたい。

A

バスについては、地区内の運行をどうするんだということと、地区内から中心部へ行くのをどうするんだという様な色々なケースがある。今はそれぞれ旧町のスタイルを継承して運行している。点検をして、時間帯を変更した方が良いではないかということや地区内で相談していただいて、こういう時間帯にこういうバスを走らせた方が良いではないかという様な意見を積極的に頂いて、地域自主組織で意見を言ってもらって体制になっているので、そこで意見を言ってもらって、皆さんに乗ってもらえるようなダイヤにしてゆきたい。また、段々乗る人が減る傾向にあるので、極力乗っていただきたい。(政策企画部)

Q385 [関連質問]

関連で発言したい。乗車率が減ってきているということだが、原因の一つに利用しにくいダイヤではないのか、というのがある。悪い方向へ、悪い方向へ行っているのではないか。例えば、中学校の部活動で、乗りたい時間にバスが出た後であったり、次の便のため、長い時間待たなければならなかったりする。結果、乗れない。親が迎えに行く。そうすると乗車率も下がってくる。悪循環になっている。行事があったりすると、タクシーを運行してもらうことは結構であるが、タクシーで帰ってきた直後に市民バスが帰ってきたりとか、あるいは直前にバスが帰ってきたりとか、非効率な運行がある。連絡を密にしてもらって、チグハグな運行がないようにしてもらいたい。今回、小学校の統合があるので、来春から地域の人も利用しやすいダイヤをお願いしたい。

A

確かに学校の生徒と市民の利用時間帯の違いはあります。掛合では、市民バスはデマンドというスタイルでやっている。いわゆる予約型で、利用があれば運行するスタイルです。組み合わせについても検討する必要がある。塩田小学校に限らず、他の学校の統合が検討されている。遠くから中央部へ通うことになる。子供を中心にダイヤ改正も必要である。市民の用途と学校の用途とを少し区別していく必要があるのではないかと。検討を始めているので、皆さんから意見を頂戴して、進めてゆきたい。(政策企画部)

大東町久野地区

Q386 [高齢者の運転免許返納の奨励について]

高齢者の運転免許の自主返納を奨励して欲しい。JR木次線や市民バスの無料券などを考えてもらえたらいいと思う。高齢者だけが事故を起こすわけではないが、自動車に乗る人を減らして欲しい。

A

高齢者の免許自主返納奨励、なかなか難しい。高齢者でも運転できるし、農作業もできる、生涯現役を目指す政策を進めるのが第一と考える。とは言っても自主返納後出かけるのに不便になる、どうサポートするか考えないといけない。したがって、返納された方が不便を感じられないよう、交通機関の確保、公共交通の更なる便利さの追求に力を入れたい。(市長)

[再質問]

100歳になっても現役は理想だが、現実はそうではないので、市が思い切って自主返納奨励されたい。例えば市民バスの無料券を使うなど、どんどんすすめて欲しい。環境にもいい、事故も減る。

A

奨励ではなく、市民バスなどでの移動がより便利になれば、結果的に自主返納につながる。また、例えばタクシー券を70歳以上の人に年間10万円渡す、というような仕掛けをすれば、結果的に免許を返すということにつながるのではないかと、というようなことを検討しようとしている。雲南市は広いのでバスを走らせた方がよい地域もあるし、どういう方法がいいのかよく考えないといけない。ご意見しっかり受け止めて判断材料にする。(市長)